

# 工雲会会報

発行所  
島根県出雲市上塩冷町420  
出雲工業高校工雲会

編集発行人  
多々納 剛人

印刷所  
有限会社 伊藤印刷



ご挨拶  
会長 多々納 剛人

会員の皆さま、そして関係者の皆さまには、日頃より工雲会の運営に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和8年の初春には、出雲工業高校卒業生である駒澤大学4年・伊藤蒼唯選手が、恒例の東京箱根間往復大学駅伝競走に三度目の出場を果たされ、6区で見事な走りを見せられました。また昨年の滋賀国スポ並びに全日本空手道選手権大会女子形では、同じく卒業生の三島きりさんが初優勝という快挙を成し遂げられました。こうした活躍は、多くの卒業生に誇りと喜びをもたらし、母校の名を大いに高めるものとなりました。

出雲工業高校はこれまで、多くの専門人材を社会に送り出してこられました。卒業生の活躍は後輩に夢と希望を与え、母校を力強く支える原動力となっています。それぞれの分野で努力を重ね成果を挙げる先輩方の姿は、在校生にとって何よりの励みであり、「自分も地域や社会に貢献したい」という志を育む貴重な機会となっています。工雲会といたしましても、卒業

生の歩みを広く共有し、世代を超えたつながりを深めながら、母校の発展と地域の未来づくりに寄与してまいりたいと存じます。

一方、国においては高等学校教育改革としてネクストハイスクール構想が始動します。2040年には、産業構造や社会システムの変化により、地域を支えるエッセンスが懸念されています。技術を基盤とした教育の重要性は今後も揺らぐことなく、むしろ一層高まることと予想されます。社会が新たな技術を取り入れ進化し続ける中で、専門知識と実践力を備えた人材の育成はますます重要となっています。出雲工業高等学校は、こうした要請に応えるべく、伝統を大切にしつつ時代に即した教育の充実を図り、地域産業を支える実践的な人材育成に力を注いでおられます。また、産業界や地域との連携を深めることで、在校生が高度な技術に触れ、主体的に将来を描ける環境づくりにも取り組んでおられます。工雲会としても、母校の教育活動を支え、卒業生・在校生・地域をつなぐ架け橋としての役割をさらに強め、次代を担う技術者の育成に貢献してまいります。結びに、皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申しあげ、ご挨拶といたします。

## 卒業生の活躍

陸上

令和2年度電気科卒業生  
伊藤 蒼唯

駒澤大学陸上部



箱根駅伝区間賞から始まった私の大学三大駅伝も、先日の第102回箱根駅伝で幕を閉じました。

入学当初の目標であった「大学三大駅伝に4年間で1回は出走」を遙かに上回る9回の出走、区間新記録を含む

区間賞2回、区間2位6回、区間3位1回の結果は自分でも想像以上のものでした。

この結果は、常に格上の選手を意識した練習への取組み、レース結果に対する自己分析の継続が要因だと感じています。

今、皆さんは、自分の夢や目標に向かって日々努力を続けているかと思えます。達成のチャンスをつかむには、自己分析の継続と諦めない心はもちろんです。が、何よりも大切なのは、夢や目標に向かって自分を信じて努力をする「がんばるきもち」です。

大きな夢や目標に向かって頑張る皆さんを卒業生として応援しています。

空手道

平成30年度建築科卒業生  
三島 きり

株式会社ASAHI FORGE

出雲工業高等学校卒業後、中部学院大学へ進学し、空手道競技に打ち込んできました。学生時代には全国大会に出場し、社会人となってからは国際大会にも挑戦し、多くの経験を重ねてきました。現在は株式会社ASAHI FORGE(アサヒフォージ)に所属し、社会人として働きながら競技を続けています。

さる職場の理解と温かい応援に心より感謝し、今後は世界選手権優勝を目標に、さらなる高みを目指して挑戦を続けていきます。

2025年には全日本実業団選手権、国民スポーツ大会、全日本空手道選手権大会で優勝し、三冠を達成することができました。競技活動を支えてくだ



# 塩冶が丘に 繋がれた心のタスキ

校長 高橋 実

塩冶が丘に吹く春風が心地よく感じられる季節となりました。工雲会の皆さまにおかれましては、益々ご健勝にてご活躍のことと心よりお慶び申しあげます。また、平素より本校の教育活動に対し、多大なるご理解と温かいご支援を賜っておりますこと、厚く御礼申しあげます。

本校は1944年（昭和19年）に今市工業学校として開校し、以来81年間の学びの歴史を着実に歩んでまいりました。2024年（令和6年）10月には、創立80周年記念式典および記念事業を執り行い、本校が大切にしてきた教育理念「地域産業を担う将来のテクノロジストの育成」の追求を在校生および工雲会・地域の皆さまと改めて確認し合い、ふるさと出雲とともに更なる発展を遂げることを誓いました。

その記念事業では、工雲会や地域の皆さまからいただきました寄付金をもとに、本校の探究学習や部活動の発展に繋げるべくマイクロボスの新規購入を予定しております。メーカーの都合で長らく生産が停止してしまいましたが、昨年12月ようやく生産が再開し、購入契約を結ぶに至りましたことを皆さまにご報告しますとともに改めて感謝申しあげます。購入させていただきます車種は「トヨタ コースターGX29人乗り」です。納車されましたら、HP等で披露目させていただきます。

4月に本校に赴任した私は、生徒たちの目覚ましい活躍を一年間見続けることになりました。部活動では体育系6部・文化系3部が県予選を勝ち抜き全国への舞台を踏み、日々活気のある声が校内に響きわたっていました。中でも、「出工のお家芸」自転車競技部では、インターハイや国民スポーツ大会において江戸優選手・持田虎徹選手の大活躍が伝えられ、ふるさと出雲に元気を与え、大きな祝福を受けました。全国大会等には進めませんでした。素晴らしい人間育成や夢の追求に取り組んでいる部活動もあります。一方、日本のものづくり産業界から本校卒業予定者に対する求人は年々増大しており、売り手市場の中で採用試験は行われ、3年生が大奮闘しました。さらに、新年の箱根駅伝では、本校卒業生の伊藤蒼唯選手（駒澤大学）の魂のこもった力走から、母校やふるさと出雲への強いメッセージを受け取り、目頭が熱くなりました。これらは工雲会の皆さまが築き上げた「出工ブランド」を次の担い手が、現代の形に見事に昇華させたものでした。卒業生の皆さまが歩んでこられた道のりが、今の在校生にとって確かな道標となっていることを、校長として大変誇らしく感じる一年間となりました。

工雲会は時代や世代を超えて人々を繋ぐ「心のタスキ」です。本会報が懐かしい記憶を呼び起こす場であり、同時に新しい勇気や出会いを得る交流の場となることを切に願っております。結びに、工雲会の更なるご発展と、会員の皆さまのご多幸、そして母校「出工」ファミリーの栄を心より祈念いたしまして、年度末のご挨拶いたします。

## 令和7年度の進路状況について

進路指導部長 生和信隆

工雲会の皆さまには、平素より本校の教育活動へのご理解と、生徒の進路実現に向けたご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度の高卒求人動向についてご報告いたします。令和4年度から6年度にかけては、コロナ禍の反動による急激な求人増加が見られましたが、今年度は昨年度比で「微増」という落ち着いた動きとなりました。これは、企業が労働力の確保を優先した「量的拡大」から、コストや効率を重視し自社に最適な人材を選定する「質的安定の時期」へと社会が転じたことが要因と考えられます。

とはいえ、求人倍率は依然として極めて高い水準を維持しており、本校生徒を取り巻く環境は非常に良好です。特に全国の高卒求人約半数が「製造業」と「建設業」で占められている点は、本校で学ぶ生徒たちが日本の基幹産業を支える技術者・技能者として、社会から強く求められていることを意味しています。

このような恵まれた環境の中、生徒たちは「企業説明会」「企業見学」「インターシップ」といった段階的な活動を通じ、

仕事と企業を知る活動に前向きに取り組んでいます。日々の授業で学んだ専門知識や技術が、実際の現場でどう活用されているのかを肌で感じる体験は、学びへの実感を確認なものにしています。また、就業体験を通じて自らの適性を見極めることは、「自分の技術で社会にどう貢献したいか」という自覚と責任感を養う貴重な機会となっております。納得感のある進路選択へと繋がっています。

進路指導部といたしましては、この充実した環境を最大限に生かし、生徒が卒業後も誇りを持って各業界で活躍できるように、今後もきめ細やかな指導を続けてまいります。

### 『R7年度 就職状況』

今年度は84名が就職を希望しています。継続する「売り手市場」により選択肢は広がっていますが、多くの生徒が本校の実績がある企業を選びました。先輩が活躍する姿への安心感が、企業選びの鍵となっているようです。今後も説明会や見学等の進路活動を充実させ、生徒が納得感のある選択をできるよう支援してまいります。

### 『R7年度 進学状況』

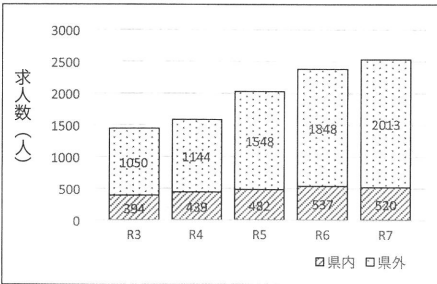
今年度も例年通り、3割を超える生徒が進学を志望し、その多くが希望する工学系の学校へと進路を決定いたしました。課題は、進学先が県外に集中している点です。在学中から地元企業の魅力を伝える機会を増やし、将来、一人でも多くの若者が島根に帰り、郷土の産業を支える技術者として活躍できるよう、継続的な支援に努めてまいります。

結びに、変化の激しい社会にあっても、生徒たちが自信を持って羽ばたいていけるよう、工雲会の皆さまには引き続き変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。今年度の報告とさせていただきます。

3年生進路状況（令和7年12月末現在）

科	在籍	就職				専攻	大学	進学		計
		県内	県外	公務員	計			短大	各種学校	
機械	34	17	6	1	24	0	3	1	6	10
建築	38	12	3	7	22	1	7	0	8	15
電機	25	5	9	2	16	0	5	0	4	9
電子機械	38	20	2	0	22	0	8	1	7	16
計	135	54	20	10	84	1	23	2	25	50
%		64.3%	23.8%	11.9%	62.2%	0.7%	46.0%	4.0%	50.0%	37.0%

求人状況(R3-7年度)※R7のみ12月末現在



# バスケットボール部

バスケットボール部は、島根県総体ベスト4を目指して、2年生7人、1年生13人の計20名で活動しています。練習時間は、平日は16時から18時半の2時間半で、休日は8時半から12時の3時間半です。練習内容はフットワークやボールハンドリングなどの基礎的な練習や、さまざまなシチュエーションを想定した対人練習を行っています。また、身体強化のために、週に1〜2回はウエイトトレーニングを行っています。しんどいこともあります。日々の練習では緊張感をもち、みんなで声を掛け合い練習に取り組んでいます。

また、あいさつや礼儀など、バスケットボールの技術以外のことも大切に、学校や地域、保護者の方から応援されるチームを目指しています。



# 空手道部



空手道部は男子4名、女子1名の計5名で活動しています。全国大会出場を目指して日々練習に取り組んでいます。未経験の生徒が多く、少人数の部活動ですが、基礎練習を重点的に行い、県内でも勝ち上がることで選手の育成に取り組んでいます。

主な大会は4月の中国選手権予選、6月の県総体、11月の新人戦です。今年度行われた県総体では、個人と女子団体でインターハイ出場権を勝ち取ることができ、岡山県で行われたインターハイに出場しました。また、新人戦では部員全員が個人での中国大会出場を決めました。

今後の目標として、団体相手に男女両方でのインターハイ出場を目指し、部員集めや日々の練習に取り組んでいきます。今後も応援のほどよろしく願います。

# 剣道部

現在剣道部は、合計6名で活動しています。一人一人がそれぞれの目標を持ち日々稽古に励んでいます。稽古の内容は、部員全員で話し合い練習メニューを決めています。自分たちが成長するために必要と考えたことに取り込み、男女協力して活動しています。OBの方々にもご指導していただく機会もあり、地域との交流や出合いを大切に、地域から応援してもらえらるチームを目指しています。

今年度からインスタグラムをはじめましたので、色々な方々に日々の活動や取り組みを見ていただくよう配信していますので是非ご覧ください。



# 新聞部

新聞部は毎月、学校生活の出来事や行事を取材し記事にして、学校新聞『塩冶ヶ丘の風』を発行しています。現在の部員数は、3年生3人、2年生4人、1年生3人の合計10人です。少人数ですが協力し合って楽しく新聞作成をしています。写真を撮ることが好きな部員が多く、R7年度文化祭では写真展を行いました。R5年度から3年連続で島根県新聞コンクールで優秀賞を受賞し、全国総文祭への出場権を得ています。R6年度さぶ総文祭、R7年度かがわ総文祭に出場し、R8年度あきた総文祭に出場が決まっています。その他、年2回の島根県新聞作成コンクールでは他校の新聞部員と協力して新聞を作り、その新聞が山陰中央新報に掲載されました。



# 美術部



美術部は2年生1名で活動しています。今年ポスターコンクールに挑戦しました。デジタルのものとは違って、絵具で色を重ねると他の対象物と背景が混ざってしまい苦労しました。描く順番を考へることも大切だと知りました。残念ながら入選はなりませんでしたが、新たな学びがあり、挑戦してよかったと思います。現在は学園祭の展示に向けて作品数を増やしています。時間に限りがあるので、やりたいことを絞って頑張ろうと思います。「水の表現がうまくなりたい」「構図を途中で修正したい」など、何度もうり直すこともあります。ものづくりへの探求心を大切に、自分が納得できる作品が描けるようになりたいという思いで日々活動しています。

# 令和7年度 主な部活動報告

## 2025年度 島根県高等学校総合体育大会 結果

### ●野球部

第106回全国高等学校野球選手権大会島根県大会  
2回戦 出雲工業 3-4 出雲高校

男子総合(Aグループ) 第3位  
女子総合(Bグループ) 第2位  
男女総合(Aグループ) 第7位

### ●陸上競技部

男子 800m 1位 M2 曾田 暁大  
5位 M1 布野 央士

### ●バスケットボール部

1回戦 出雲工業 74-58 隠岐高校  
2回戦 出雲工業 79-92 明誠高校

### ●バレーボール部

1回戦 出雲工業 2-0 隠岐高校  
2回戦 出雲工業 0-2 安来高校

### ●卓球部

【男子学校対抗】  
1回戦 出雲工業 2-3 安来高校  
【男子シングルス】  
3回戦 M2 平野明咲陽  
4回戦 A3 三島 脩那

### ●ソフトテニス部

個人戦  
ベスト16 S3 小村 大和・A3 板垣 颯真  
A3 伊藤 颯・A3 山本 惺太  
E3 三原 駿斗・S2 金築 一牙  
第2位 M3 小村 駿斗・A3 山本 遥斗  
団体戦  
2回戦 出雲工業 3-0 江津高校  
3回戦 出雲工業 2-0 安来高校  
準決勝 出雲工業 1-2 松江工業高校 ベスト4

●柔道部  
1回戦 M3 勝原 悠太、M3 森田さくら  
●剣道部  
男子団体 1回戦 A2 中里 光希  
男子個人 2回戦 A1 岩井 友孝  
A1 杉原 知樹  
女子個人 3回戦 S3 周藤 逞  
2回戦 A1 岡元 あや  
3回戦 A1 石倉 実奈

●サッカー部  
1回戦 出雲工業 3-2 松江農林高校  
2回戦 出雲工業 2-0 浜田高校

3回戦 出雲工業 3-1 松江南高校  
準決勝 出雲工業 0-7 立正大湊南高校 ベスト4  
●自転車競技部  
トラック競技  
1kmタイムトライアル 1位 加藤源一郎 E3  
スクラッチ 2位 持田 虎徹 M3  
ケイリン 2位 加藤源一郎 E3  
4km速度競走 1位 持田 虎徹 M3  
ポイントレース 2位 加藤源一郎 E3  
3kmインディヴィデュアルパースユート 2位 持田 虎徹 E3  
スプリント 2位 加藤源一郎 E3  
チームスプリント 2位 加藤源一郎 E3  
4kmチームパシユート 1位 持田 虎徹 M3  
女子3km 1位 江戸 優 M3  
女子1km 1位 江戸 優 M3  
女子スプリント 1位 江戸 優 M3  
ロード競技 1位 持田 虎徹 M3  
女子1位 1位 江戸 優 M3

### ●弓道部

男子団体 第4位 E3 佐藤 千真  
男子個人 第3位 E3 下垣 陽向  
女子個人 第6位 M3 入賞者なし

### ●アーチェリー部

男子団体 優勝 S3 周藤 由珠  
(S3 周藤、E3 渡邊、S2 藤原)

### ●空手道部

男子個人 優勝 S3 周藤 由珠  
男子団体組手 第2位 (S3) 成相、M2 河井、  
A2 石倉、M1 松島、  
A1 原)

### ●女子団体組手

第1位 (A3) 吉田、石田、  
S1 打田、A1 原)

### ●女子個人形

第2位 S1 打田、A1 原  
第3位 S1 打田、A1 原  
第3位 A3 石田、和叶

### ●男子個人形

第2位 S3 成相 勇稀  
第3位 S3 成相 勇稀

### ●男子個人組手

第1位 S3 成相 勇稀

第3位 A2 石倉 羽琉  
第3位 M1 松島 迅

### 2025年度文化系部活動大会結果

●放送部  
第61回島根県高等学校放送コンテスト  
【テレビドキュメント部門】 優秀賞 全国大会出場  
【keep on running】最後まで走りきる  
第72回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会  
【テレビドキュメント部門】 準々決勝敗退  
第29回島根県高等学校総合文化祭放送部門島根県大会  
【オーディオメッセージ部門】【ビデオメッセージ部門】  
最優秀賞・中国大会出場 次年度8月の全国大会出場

### ●ものづくり研究部 機械系

令和7年度 高校生ものづくりコンテスト  
旋盤部門 島根県大会 2位 M3 太田 歩  
溶接部門 島根県大会 1位 M3 原 杏実花  
3位 S2 田中 大翔  
10位 S2 田中 大翔  
11位 M3 原 杏実花

### ●ものづくり研究部 建築系

令和7年度 高校生ものづくりコンテスト  
木材加工部門 島根・鳥取大会  
第1位 森山 華  
第2位 永島 悠翔  
第3位 福代 歩香

### ●ものづくり研究部 電気系

令和7年度 高校生ものづくりコンテスト  
(電気工事部門) 中国地区大会  
電気工事部門  
第7位 E3 田中 雅大

### ●ものづくり研究部 電子機械系

令和7年度ロボット競技島根県大会  
第2位 SUSANO

### ●新聞部

第44回島根県高等学校新聞コンクール  
優秀賞